

登録コード	TSN11500	開講年度	2026				
授業科目	地盤環境工学演習					担当教員	河村 隆
英文授業名	Seminar in Mechanics of Ground					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				研究に必要な資料の収集と読解ができるようになる（高い情報収集）．学術論文を的確に理解し，他人にわかりやすく説明できるようになる．さらに，自分の見解を述べることができ，質疑応答が的確にできるようになる（分析能力）．他人の発表に対して，建設的な質疑ができるようになる（グローバルな情報発信能力）．		
(2)授業の概要	土質力学・地盤工学にかかわる研究論文などを読み，論文の内容，独創的な点，問題点などを議論するゼミナールを行う．論文のテーマは学生自身の研究テーマに関連したもので，自由に選んでよい．1論文につき2回でまとめることを原則として行う．あらかじめ自分が選んだ論文を事前配布しておき，当日はレジメも用意して発表する．選んだ論文の単なる翻訳ではなく，関連事項やその論文で引用されている論文などに眼を通した上で紹介する．						
(3)授業計画	前後期毎週1回開講し，輪講（ゼミ）形式で行う． 第1回 資料の収集 第2回 補強材の引抜きに関する論文（1） 第3回 補強材の引抜きに関する論文（2） 第4回 真空圧密に関する論文（1） 第5回 真空圧密に関する論文（2） 第6回 地すべりに関する論文（1） 第7回 地すべりに関する論文（2） 第8回 ベンダーエレメント試験に関する論文（1） 第9回 ベンダーエレメント試験に関する論文（2） 第10回 抗土圧構造物に関する論文（1） 第11回 抗土圧構造物に関する論文（2） 第12回 不飽和供試体の作製法に関する論文（1） 第13回 不飽和供試体の作製法に関する論文（2） 第14回 閉鎖性水域の底質環境に関する論文（1） 第15回 閉鎖性水域の底質環境に関する論文（2） 対象とする雑誌などの例： Soils and Foundations，土木学会論文集，Proceedings of the ASCE，Geotechnique，Canadian Geotechnical Journal，Geosynthetics International，Geotextiles and Geomembranes，Proceedings of the ICSMFE，その他国際会議・シンポジウムのプロシーディングス						
(4)成績評価の方法	既往の研究に関するゼミナールの発表（30％）とその内容を踏まえた修士論文の位置づけや進捗状況のまとめ（70％）について単位を認定する．						
(5)成績評価の基準	（i）文献の選定が適切であり，（ii）その文献の内容を説明できており，（iii）その文献にどのような課題があるのかを指摘できており，（iv）それらの課題に対して既存の知見が提示する解決法を適切に把握できており，（v）その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。（i）から（v）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」．4項目までできていれば「やや上にある」．3項目までできていれば「合格水準にある」．						
(6)事前事後学習の内容	事前学習として，研究テーマに関連する学術論文を検索し，選択する．その論文の内容を的確に理解し，他人にわかりやすく説明するために，レジメを作成する．事後学習として，ゼミナールで出た質問や意見などを取りまとめて，有益な知見や課題を整理する．						
(7)履修上の注意	「土の力学」，「地盤の力学」，「地盤工学」を習得もしくはそれに相当する学力を有していることが望ましい．						
(8)質問,相談への対応	メール（t_kawa@shinshu-u.ac.jp）にて受け付ける． 火曜日16時から17時までをオフィスアワーとする． 場所は，E 4 棟 3 階 3 1 1 号室．対応できる時はその他の時間でも可．						
(9)その他							
【教科書】	研究テーマに関する研究論文（各自が選択）						
【参考書】	指定しない．						